

平成28年10月13日（木）の

愛知県教育委員会発表を受けての新城市ならびに新城市教育委員会の所見

この度、愛知県教育委員会から、「県立新城東高等学校と県立新城高等学校との統合について」が発表されました。

地元としては、新城東高校の「普通科」の実績と新城高校の「専門学科」の実績を継承した新しい魅力ある学校を設置するという愛知県教育委員会の統合方針は理解しつつも、「普通科」がなくなることには強い懸念をもっておりました。そこで、市長、市議会、市教育委員会、市校長会、市PTA連絡協議会など、市をあげて「普通科」の存続を求めてきました。また、北設楽郡3町村の皆様も同様の立場でありました。

今回発表された統合校の構想では、学科は「総合学科」であっても、内実として、生徒募集及び入学者選抜において、「文理系と専門系を別枠で実施」と明示されました。そして、「文理系」では、これまでの「普通科」以上に質の高い学習が可能な「理系」「文系」「英語系」の3系列が設置されます。これは、地元の意見を尊重していただき、実質上普通科を充実させて存置していただいたものと受け止めております。

さらに、「総合学科」らしく、生徒の進路希望に応じた「系列」や「科目」を柔軟に選択することができ、希望をもって新しい学校づくりに励むことができるものと考えます。そこで、より質を高めた「普通科」の学びの存続が、新しい高校の「総合学科」にしっかりと位置づけられていることを、中学生や保護者、市民にもわかりやすい形で示していただくことが必要です。新しい学校が、今後、地元小中学校や地域との連携をいっそう深めて、地域に根ざした高校として、地域の将来を担う有為な人材を育成していただけることを願っています。

平成28年10月14日

新 城 市

新城市教育委員会



教育は
未来へつなぐ
希望の輪

平成 28 年 10 月 13 日 (木)
愛知県教育委員会高等学校教育課
教科・定通指導グループ
担当 加藤・山脇・川手・井上・伊藤
内線 3903・3904
(ダイヤルイン) 052-954-6787

県立新城東高等学校と県立新城高等学校との統合校について

愛知県教育委員会では、「県立高等学校教育推進基本計画（高等学校将来ビジョン）」（平成 27 年 3 月策定）及び「県立高等学校教育推進実施計画（第 1 期）」（平成 28 年 2 月策定）に基づき、新城東高等学校と新城高等学校を統合することとしておりましたが、このほど統合校の構想がまとまりましたのでお知らせします。

なお、概要は下記のとおりです。

記

1 基本構想

新城東高等学校の「普通科」の実績と新城高等学校の「専門学科」の実績の双方を継承するとともに、地域の将来を担う有為な人材を育成する魅力ある学校を設置する。

(1) 開校年度

平成 31 年度

(2) 課程・学科

全日制課程・総合学科（文理系 3 系列、専門系 4 系列）

(3) 学校規模

1 学年 6 学級程度（文理系、専門系各 3 学級程度）

(4) 生徒募集及び入学者選抜

文理系と専門系を別枠で実施

(5) 設置場所

新城高等学校の校地（開校初年度は、新城東高等学校を校地とする。）

2 教育課程編成の基本方針

(1) 文理系は、新城東高等学校の普通科を継承する教育課程とし、文系大学、理系大学等への進学に対応する 3 系列を設置する。

① 将来、科学技術等の分野で活躍できる人材を育成するため、数学、理科等の理系科目に重点を置いて学ぶ系列。

② 将来、法・経済、文化・教育等、社会の幅広い分野で活躍できる人材を育成するため、国語、地歴公民、外国語等の文系科目に重点を置いて学ぶ系列。

③ 将来、国際舞台で活躍できる人材を育成するため、英語によるコミュニケーション能力の育成に重点を置いて学ぶ系列。

- (2) 専門系は、新城高等学校の専門学科を継承する教育課程とし、農業科、商業科、家庭科の専門分野を学ぶ4系列を設置する。
- ① 新城高校食農サイエンス科を継承。農作物を育てる知識・技術に加え、6次産業化に対応し、特産物の加工、販売、流通までを学ぶ系列。
 - ② 新城高校園芸デザイン科を継承。草花の生産や草花装飾、造園、環境保全に関する知識・技術を学ぶ系列。
 - ③ 新城高校ビジネス創造科を継承。ビジネスに関する知識、技術に加え、地域活性化のための観光や商品開発、デザイン等について学ぶ系列。
 - ④ 新城高校生活創造科を継承。食や被服に関する知識と技術に加え、食育や地域の生活文化の伝承と創造について学ぶ系列。
- (3) 文理系、専門系とも総合学科の特色を生かし、生徒が自らの進路希望に応じて系列選択や科目選択を行い主体的に学ぶことができる柔軟な教育課程を編成する。(文理系から専門系の系列を選択することや、その逆も可能な仕組みとする。)
- (4) 「産業社会と人間」、「総合的な学習の時間」、その他の学習活動や学年行事等において、文理系、専門系の生徒が一体となって行う活動を重視する。

3 校名

愛知県立新城有^{ゆうきょうかん}教館高等学校

※ 「有教館」は、かつての新城藩の藩校。「有教」は、論語(衛霊公)「子曰、有教無類(子曰く、教えありて類なし)」から。人間は教育によって成るもので家柄や身分による違いがあるものではないという意味。

4 その他

作手校舎は、平成32年度までは現行どおり新城東高校の校舎とし、新城東高校の閉校に伴い、平成33年度からは統合校の校舎とする。

統合校新設への移行期間の校地及び生徒

年度	スケジュール	新城高校校地	新城東高校校地	作手校舎
29		◆新城高校 1～3年	◆新城東高校 1～3年	◆新城東高校 校舎 1～3年
30		◆新城高校 1～3年	◆新城東高校 1～3年	◆新城東高校 校舎 1～3年
31	<ul style="list-style-type: none"> ・統合校開校 ・新城・新城東 高校（本校） 募集停止 	◆新城高校 2、3年	◆新城東高校 2、3年 ◇統合校 1年	◆新城東高校 校舎 1～3年
32		◆新城高校 3年 ◇統合校 1、2年	◆新城東高校 3年	◆新城東高校 校舎 1～3年
33	<ul style="list-style-type: none"> ・新城・新城東 高校閉校 	◇統合校 1～3年		◇統合校校舎 1～3年 （2、3年は新 城東高校から 転入）